

2019年9-11月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
論文・総説		
1	発表者名	Fujita M ¹ , Yamamoto Y ¹ , Watanabe S ² , Sugawara T ² , Wakabayashi K ³ , Tahara Y ³ , Horie N ⁴ , Fujimoto K ⁴ , Kusakari K ⁵ , Kurokawa Y ⁵ , Kawakami T ⁶ , Kojima K ⁷ , Sozu T ⁸ , Nakayama T ⁸ , Kusao T ⁸ , Richmond J ⁹ , Nicole K ¹⁰ , Kim BH ¹¹ , Kojima H, Kasahara T ¹ , Ono A ¹²
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ Safety Evaluation Center, Fujifilm Corporation ² Human & Environmental Safety Evaluation Center, Lion Corporation ³ Chemical Safety Department, Mitsui Chemicals, Inc ⁴ Environmental Health Science Laboratory, Sumitomo Chemical Co., Ltd ⁵ Biological Research Laboratories, Nissan Chemical Corporation ⁶ Division of Environmental Chemistry, National Institute of Health Sciences ⁷ Food and Drug Safety Center ⁸ Faculty of Engineering, Tokyo University of Science ⁹ Dr. Jon Richmond: Advice and Consultancy ¹⁰ NTP Interagency Center for the Evaluation of Alternative Toxicological Methods ¹¹ College of Natural Sciences Keimyung University ¹² Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical sciences, Division of Pharmaceutical Sciences, Okayama University
	総説題名	The within- and between-laboratory reproducibility and predictive capacity of the in chemico amino acid derivative reactivity assay: Results of validation study implemented in four participating laboratories.
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	J Appl Toxicol. 2019 Jul 17. doi: 10.1002/jat.3834
2	発表者名	Kojima H, Sakai Y ¹ , Tanaka N ²
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ University of Tokyo ² Hatano Research Institute, Food and Drug Safety Center
	総説題名	Japanese Contributions to the Development of Alternative Test Methods, The History of Alternative Test Methods in Toxicology
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	Elsevier, Netherlands, 2019, 79-85, doi: 10.1016/B978-0-12-813697-3.00011-1
学会発表		
1	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	最新の皮膚感作性試験の動向（IATA等）
	学会名、発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会企画委員会主催技術講習セミナー「代替法を正しく、有効に使う為に！」(2019.9.6, 東京)
2	発表者名（口頭）	小島 肇
	演題名	OECD AOP プロジェクト
	学会名、発表年月及び場所	第26回日本免疫毒性学会学術年会(2019.9.10, 北九州)

3	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	免疫毒性AOP開発が目指すもの
	学会名, 発表年月及び場所	第26回日本免疫毒性学会学術年会(2019.9.10, 北九州)
4	発表者名（口頭）	小島 肇
	演題名	培養組織モデルの国際標準化の状況
	学会名, 発表年月及び場所	LbL-3D組織シンポジウム(2019.9.12, 吹田)
5	発表者名（口頭）	Kojima H
	演題名	Establishment of the Asian Consortium for Three Rs supported by ASCCT
	学会名, 発表年月及び場所	8th Annual Meeting of the American Society for Cellular and Computational Toxicology (2019.9.25, Gaithersburg, MD, USA)
6	発表者名（口頭）	Kojima H
	演題名	Asian Consortium for Three Rs
	学会名, 発表年月及び場所	European Society for Alternatives to Animal Testing (EUSAAT) 2019 (2019.10.12, Linz, Austria)
7	発表者名（ポスター）	Suzuki M ¹ , Ambe K ¹ , Tohkin M ¹ , Yamada T, Ashikaga T
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya City University
	演題名	Development of in silico prediction model for skin sensitization using the alternative tests dataset
	学会名, 発表年月及び場所	情報計算法学生物学会2019年大会(2019.10.22-24, 東京)
8	発表者名（口頭）	Kojima H
	演題名	Modern Cosmetic Testing Technology that Alternative to Animal Testing (efficacy, safety evaluation)
	学会名, 発表年月及び場所	The 2nd TISTR and JAIMA conjoint conference (2019.11.7, Bangkok, Thailand)
9	発表者名（ポスター）	木村 裕 ¹ , 安野理恵 ² , 渡辺美香 ³ , 小林美和子 ³ , 岩城知子 ⁴ , 藤村千鶴 ¹ , 近江谷克裕 ² , 山影康次 ³ , 中島芳浩 ⁴ , 真下奈々 ⁵ , 高木佑実 ⁵ , 大森 崇 ⁵ , 小島 肇, 相場節也 ¹
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 東北大学 大学院医学研究科 ² 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 ³ (一財)食品薬品安全センター 秦野研究所 ⁴ 産業技術総合研究所 健康工学研究部門 ⁵ 神戸大学大学院医学研究科
	演題名	Multi-ImmunoTox Assay (MITA) の予測性評価に必要な文献に基づく化学物質免疫毒性分類の試み
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第32回大会(2019.11.20, つくば)

10	発表者名 (ポスター)	赤木隆美 ¹ , 村上将登 ¹ , 宮崎裕美 ² , 田口浩之 ³ , 池田英史 ⁴ , 加藤雅一 ⁵ , 山田知美 ⁶ , Mura Simona ⁷ , Couvreur Patrick ⁷ , 足利太可雄, 小島 肇, 明石 満 ¹
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 大阪大学大学院 生命機能研究科 ² 防衛医科大学校 防衛医学研究センター ³ 花王株式会社 ⁴ 株式会社マンダム ⁵ 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング ⁶ 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 ⁷ Institut Galien Paris-Sud
	演題名	交互積層細胞コーティング技術を用いた三次元全層皮膚モデルの構築と皮膚刺激性試験バリデーション研究
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第32回大会(2019.11.21, つくば)
11	発表者名 (ポスター)	山口宏之 ^{1,2} , 押方 歩 ¹ , 綿谷弘勝 ¹ , 小島 肇, 竹澤俊明 ¹
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 農業・食品産業技術総合研究機構 ² 関東化学株式会社 伊勢原研究所
	演題名	Vitirgel-EIT 法を固体に適用するための新たな適用範囲の提案
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.21, つくば)
12	発表者名 (ポスター)	秋元美由紀 ¹ , 吉田浩介 ² , 渡辺真一 ² , 山鹿宏彰 ² , 若林晃次 ³ , 田原 宥 ³ , 堀江宣行 ⁴ , 藤本恵一 ⁴ , 草苺 啓 ⁵ , 神谷孝平 ⁵ , 河上強志, 小島幸一 ⁶ , 寒水孝司 ⁷ , 小野 敦 ⁸ , 小島 肇, 藤田正晴 ¹ , 山本裕介 ¹ , 笠原利彦 ¹
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 富士フイルム株式会社 ESG 推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター ² ライオン株式会社 研究開発本部 安全性科学研究所 ³ 三井化学株式会社 RC・品質保証部 化学品安全センター ⁴ 住友化学株式会社 生物環境科学研究所 ⁵ 日産化学株式会社 生物科学研究所 安全性研究部 ⁶ (一財)食品薬品安全センター ⁷ 東京理科大学 工学部 情報工学科 ⁸ 岡山大学 医歯薬学総合研究科薬学系
	演題名	ADRA におけるDMSO 溶媒中でのNAC の酸化と感作性予測精度に与える影響
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第32回大会(2019.11.21, つくば)
13	発表者名 (ポスター)	成田和人*, 奥富弘子*, 川上久美子*, 須井 哉*, 足利太可雄
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	* (一財)食品薬品安全センター 秦野研究所
	演題名	呼吸器感作性物質評価に対するh-CLAT の有用性検討
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.21, つくば)

14	発表者名（口頭）	諫田泰成, 大戸茂弘 ¹ , 鈴木 真 ² , 武吉正博 ³ , 竹内小苗 ⁴ , 佐久間めぐみ ⁵ , 中村 牧 ⁶ , 小島 肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 九州大学 ² 沖縄科学技術大学院大学 ³ 一般財団法人 化学物質評価研究機構、 ⁴ P&G イノベーション合同会社 ⁵ 株式会社コーセー ⁶ 小林製薬株式会社
	演題名	日本動物実験代替法学会 国際交流委員会報告
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.22, つくば)
15	発表者名（口頭）	小島 肇
	演題名	安全性評価試験法のOECD等における国際動向と課題
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.22, つくば)
16	発表者名（口頭）	足利太可雄
	演題名	呼吸器感作性物質評価に関するh-CLATの有用性検討
	学会名, 発表年月及び場所	日本動物実験代替法学会第32回大会 (2019.11.22, つくば)